小中一貫教育推進 城山学園

平成28年4月20日

No 25

学園コーディネーター通信 学園CO 水崎浩克

めざす学園像:家庭や地域と協働し、3つの」を身につけた子どもの育成に専念する学校

城山中で対面式・部活動紹介



~新1年生が安心して、楽しく学校生活を送ることができるように~

4月8日(金)、12日(火)は入学式。城山中には229名の7年生、小学校には266名(赤間小170名、赤間西小74名、吉武小22名)の1年生が入学しました。

城山学園全体で495名の新入生が新しい環境で安心して学校生活をスタートできるように、これまで保・幼、小、中が情報交換を行い、連絡を密にし連携を強くする取り組みが大切にされてきました。このことが子どもたちの不安の軽減や新たな人間関係の広がりに大きく役立っていると思います。

12日に行われた城山中の対面式・部活紹介、小学校での歓迎集会・遠足は、恒例行事とはいえ、新1年生を「迎える」ための行事でカリキュラムに位置づくものであり、これから始まる9年間の教育活動の「初めの1歩」としてとても大事だと感じました。



【対面式 温かくきびきびと1年生を迎えました】



【部活動紹介 柔道部の模範演技】

第1回合同研修会 4月14日(火)

28年度城山学園の推進計画、学習指導部会研究構想、連携事業部会活動計画、年間スケジュール等を確認しあいました。

めざす学園像「家庭や地域と協働し、3つのJを身につけた子どもの育成に専念する学校」には、学校のミッションである子どもに力をつけ、伸ばしていく方途と目標が示されています。また、「育成に専念する」ことは、学校の役割と責任をより明確にしたものであると



思います。城山学園4つの小中学校がそれぞれの特色を生かしつつも、足並みをそろえ、一貫した9年間の教育活動をさらに充実させましょう。

さらに、めざす家庭像と地域像もあわせて推進計画に示されています。これまでの協力体制を維持しながら、生活・学習習慣づくり、規範性・社会性の育成に焦点化した協働体制の質的転換も大切にされなければならないと思います。

学園一人ひとりの教職員がこのことをふまえて家庭や地域とのかかわりを深めていきま しょう。キーワードは、教職員も子どもも「学び合い」「かかわりあう」ことです。